

# 平成22年度沼宮内高等学校経営計画

—地域において存在価値を認められる学校づくり—

## 校訓

清潔 強靱 寛容

## 教育目標

将来の進路に見通しを持ち、知育・徳育・体育の調和のとれた、社会に貢献できる自立した心豊かな人間を育成する。

## 経営環境の把握と将来展望

### 学校に対するニーズ

- 1 **生徒**
  - 学力の向上
  - 進路希望実現のための支援
  - 部活動の充実
- 2 **保護者**
  - 進路希望の実現
  - 生徒に対する指導の徹底
  - 学校の情報提供と保護者の意見反映
- 3 **地域住民**
  - 地域の産業や文化の発展に貢献できる人材の育成
  - 部活動や各種大会における全国レベルの活躍
- 4 **就職先・進学先**
  - 基本的な生活習慣の確立とコミュニケーション能力の育成
  - 自ら考え行動し、地域社会の発展に貢献する意欲的人材の育成

### 学校経営に影響を与える変化

- 1 経済危機によって地域の産業構造が変化していることから、就職先の職種や地域の拡散を図り、生徒の学力や資質をより一層高めて、不況にも強い高校としての地位を確立する。
- 2 交通の便が良好であることから盛岡の高校に通学する地元生徒が増加しているが、進路実績を向上させて本校の存在価値を高める必要がある。特に進学において、地元の高校からでも進路希望が実現できるよう指導体制を強化していく。
- 3 生徒数の減少が部活動の活力に影響を与える懸念がある。

### 学校経営パートナーとの関係

- 1 **PTA**  
学校経営に対する評価および計画実施における協力者として連携強化が必要である。また、家庭環境が多様化しており、生徒の健全育成のために情報の共有化を図る必要がある。
- 2 **教育委員会**  
教員の資質向上のために、その時々々の教育的課題に対応した実践的研修の機会を提供してほしい。
- 3 **産業界・同窓会**  
職業観や勤労観の育成のために、社会の第一線で活躍する人材の活用が今後ますます求められる。また、職場開拓においても、同窓生との相互作用関係を構築していく必要があり、産業界や同窓会等と、パートナーシップを一層強化していく。

## 目指す学校像

- 建学の精神に立ち返り「キャリア教育」を一層充実させ、社会の期待に応えられる有為な人材の育成と進路実現の質的向上を図る。
- 明確な進路目標を持ち、学習と部活動を両立させて、充実した高校生活を送ろうとする意欲的な中学生から選ばれる高校にする。

## 今後の取り組み方針

- 授業規律の確立を図るとともに家庭学習の充実を図る（学年プラス1時間）。
- 教員の指導力向上のために積極的に研修に参加させる。
- 進学対策を強化する（目標は国公立大学合格5名）。
- 就職先の質的向上のために優良企業の求人開拓を積極的に行う。
- 保護者に対して進路情報を提供し、進路についての啓発を行う。